

巻頭言

情報メディア基盤センター長/医歯薬学総合研究科 本多 正幸

平成 18 年 4 月からセンター長として諸活動をさせていただき、本年 4 月より 2 期目となります。情報メディア基盤センターの前身である総合情報処理センター時代には、センター運営委員会（各部局から選出された委員により構成）の広報部会が担当し、センターレポートを発刊しておりました。今回、情報メディア基盤センターからの情報発信を活性化するべきであるとのご意見があり、久しぶりにセンターレポートを発刊させていただくことになりました。これは当センターにとっても長崎大学関係者に広く活動内容及び抱えている問題点を紹介できるよい機会と捉えています。

以下に、現在当センターが取り組むべき課題や状況を紹介させていただきます。内容的には、個人的な見解も含まれておりますことをご了解いただければ幸いです。

まず、ハード環境に関する課題として、ネットワーク基盤整備に関しましては、平成 20 年度の概算要求として整備計画を立てましたが、財務省にて承認されませんでした。そこで、本学の整備計画に組み入れていただき、現在仕様策定などに取り掛かる準備をしています。平成 21 年の秋頃には、教育研究活動を支援する高速で安定した新ネットワーク環境の基盤が構築される予定です。しかし、効率的な運用には人的連携が重要ですので、当センターと各部局がさらに密なる連携を図れるよう努力して参ります。

また、次期センター建物の設計検討も必要ですが、新規の建物要求は最大級の難関です。今後の情報教育、研究、業務などの体制整備に伴い物理的な環境整備が必要となることは誰しもが認めるところであるとともに、現実解を模索しなければなりません。そこで、一つの対策として保健・医療推進センター裏の旧自家発電室を新システム室として整備していく案が進められる予定です。これは、先に述べた新ネットワークシステム、教育・研究システムのリプレース、情報企画課管理のシステムの移転などを視野に入れ、統合したマシーン室環境を整備していくというものです。2 年ないし 3 年先になりますが、本件は、学術情報部（情報企画課）の改組とともに、当センターが抱える人的な組織の改革と密接に関連しますので、重要な案件と認識しています。

ソフト環境に関する課題としては数多くありますが、以下にいくつか例示してみます。

- (1) 次期システム更新に向けた基本設計・・・現在の教育システムは平成 18 年 4 月から平成 22 年 2 月までの 4 年間のレンタル契約であり、次期システムへのスムーズな移行を計るためにネットワーク基盤整備とも十分に連携した計画を立てる必要があります。

Information Media Center Annual Report 2008

- (2) 教務学生支援システム構築支援・・・前回検討した Web 学生支援システム内容を十分吟味し、決して失敗のないように十分な成果が上がるように、システム構築に関しセンターが総力を挙げて支援していく必要があります。
- (3) 認証基盤の整備・・・IT 化社会で最も重要な要件の一つである認証基盤については、社会的なインフラ整備として U-PKI¹や H-PKI²が注目されていますが、それらの取り組みと融合するとともに、長崎大学独自の認証基盤整備が必要不可欠です。そのための環境として、IC カードによる学生認証、職員認証の推進にセンターとして取り組んでいく必要があると思います。関連課題として、ISO27001 (ISMS ; 情報セキュリティマネジメントシステム) のセンターとしての取得の検討も課題の一つと考えます。
- (4) 教育基盤としての e-ラーニングシステム構築支援・・・情報メディア部門では、WebClass を実験的に導入し研究会も立ち上げて普及促進に取り組んできていますが、本活動を継続し、次期中期目標期間における教育基盤として整備できるよう取り組みをさらに強化していく必要があります。
- (5) 学内 DB 統合管理のシステムの検討 (図書館との連携)・・・DB 部門では、大学におけます各種の DB の調査を継続しておりますが、今後は大学としての統合管理が行えるように検討するとともに、最適化を目指すことが重要かと思えます。それに伴い、図書館が抱える DB の管理についても連携し統合化を目指すべきかと思えます。長崎大学の各種の資産管理の一元化という観点からも検討する必要があるかと思えます。

その他、環境整備に関する課題としては、「情報関係事務組織の変更と実質的連携体制の強化」「情報系教員組織の変更による教育体制整備」「大学 IT 化推進体制の検討 (CIO 体制と情報政策委員会との関係見直し)」などがあると思います。

最後に、現在情報メディア基盤センターには、4 名の専任教員 (教授 1、准教授 1、助教 2) と 5 名の兼任教員がおり、互いに協力し合い教育、研究、業務に励んでおります。今後も関係各部署とのさらなる連携を強化しつつ、長崎大学の情報基盤の環境向上に向けて努力して参りますので宜しくお願いいたします。

¹ U-PKI : University Public Key Infrastructure の略。国立情報学研究所が推進している大学間連携のための全国大学共同電子認証基盤構築事業。

² H-PKI : Healthcare Public Key Infrastructure の略。保健医療福祉分野で適用される公開鍵基盤。